

科目名 Course Name	介護の基本V Fundamentals of Care V						
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	石川 幸子						
連絡先(質問等)	福祉棟2階研究室、オフィスアワーは月・火・木・金の授業時間以外						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p><概要> 「介護の基本V」では、サービスの概要およびサービス利用のプロセス、ケアマネジメントの概念とそのプロセスについて学習する。また、さまざまな介護サービス提供の場の特性について理解し、その場における介護福祉士の役割について考える。さらに、利用者を支える多職種の機能と役割、連携(チームアプローチ)の方法、地域における資源と連携の必要性および方法について学ぶ。</p> <p><到達目標> ①高齢者および障害者に提供されるサービスを列挙でき、内容および利用のプロセスを具体的に説明できるようにする。 ②介護サービス提供の場の特性および介護福祉士の役割について説明できるようにする。 ③介護実践における他職種との連携、地域連携の意義および方法について説明できるようにする。 ④ケアマネジメントの目的や構成要素、プロセスおよびケアプラン作成の視点について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義中心であるが、サービスの概要については、分担して各自調べた内容を発表することで知識の共有を図る。また、多職種および地域連携が必要となる事例を用いて、ロールプレイやグループディスカッションを行う。						
学習成果	L01						
	L02	介護サービスの概要や特性および介護サービスの利用プロセスをふまえ、利用者の状態や生活状況に適したサービスを選択することができる。					
	L03						
	L04	ケアマネジメントにおけるインテークの技術とケアプラン作成の知識を習得し、利用者に必要な多職種および地域との連携の内容や方法について考え、利用者及び家族への支援に活かすことができる。					
課題に対するフィードバック	レポート・調査報告書はコメント記入・評価後学生に返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	教科書:最新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本II」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●講義・演習ともに積極的に参加し、学びを共有してほしい。介護の基本I～IV、介護過程I～IVの内容を十分に復習し、授業に臨むこと。机の上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。 						
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ●実務経験(職種:介護支援専門員、職歴:通算10年) ●特に高齢者の計画担当介護支援専門員としての多様な経験を、ケアマネジメントの実際を疑似体験する時などに活用する。 						
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、不明な点は質問すること。また、ロールプレイやグループディスカッションに積極的に参加し、他者の意見を聴き自分の意見を述べること。		10				
レポート/作品	ロールプレイの振り返りレポートを課す。S評価のレポートは、それぞれの立場からよい点と修正点が述べられていること、他グループのロール		10				

	プレイから、留意する点に関する学びが記述されていることなどである。				
発表	原稿を読むだけでなく、周囲にも目を配ったり適切な声で発表できる。①サービス調べ:聞き取りやすく、質問に的確に答えている。②ロールプレイ:目的に応じて準備を行い、役割に応じた発言をしている。③ケアプランの点検内容をわかりやすく発表している、などが評価の視点である。(各 10%)				30
小テスト					
試験	高齢者及び障害者に提供されるサービスの種類と利用のプロセス・高齢者・障害者の在宅サービス・入所サービスの提供の場の特性と介護福祉士の役割・他職種との連携のあり方・地域連携のあり方と地域連携に関わる機関・ケアマネジメントの運用におけるインテークアセスメントの実践 ・ケアプラン策定の流れに関する理解ができています。				30
その他 調査報告書	担当したサービスについて調べて発表する。S 評価の報告書は内容が正しく、利用者等に説明することを考え、わかりやすくまとめていること、使用した資料を明らかにしていることなどである。				20
合 計				20	80

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など) 介護サービスの特性① 介護サービスの意味と特性
	事前・事後学習	アドボカシー、エンパワメント、バイステックの 7 原則、ジョハリの窓を調べる。
2	授業内容	介護サービスの特性② ケアマネジメントの意味としくみ、介護サービスの種類と提供の場
	事前・事後学習	テキスト P59、P60 の問題を解く。
3	授業内容	介護サービス提供の場の特性① 【サービスの調査】<調査の概要等は授業時間内で説明する>
	事前・事後学習	担当のサービスの調査。
4	授業内容	介護サービス提供の場の特性② 【調査とまとめ】(調査報告書 提出:第 5 回目授業前日)
	事前・事後学習	調査報告書をまとめる。
5	授業内容	介護サービス提供の場の特性③ 【発表】
	事前・事後学習	発表の準備をおこなう。
6	授業内容	介護実践における多職種連携① 多職種連携の意義と目的、他職種の機能と役割
	事前・事後学習	テキスト P71～P76 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
7	授業内容	介護実践における多職種連携② 利用者を取り巻く多職種連携の実際
	事前・事後学習	テキスト P80～P82 を読んで感想を列挙する。
8	授業内容	地域連携① 地域連携の意義と目的、地域連携にかかわる機関の理解
	事前・事後学習	テキスト P76～P80 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
9	授業内容	地域連携② 利用者を取り巻く地域連携の実際
	事前・事後学習	テキスト P80～P82 の事例を読んで、感想を箇条書きにする。
10	授業内容	ケアマネジメントの実際① ケアマネジメントの目的とプロセス、インテーク・アセスメント
	事前・事後学習	ロールプレイを行う事例の読み込み。
11	授業内容	ケアマネジメントの実際② インテーク・アセスメント 【DVD視聴後 ロールプレイ】 (ロールプレイの振り返りレポート 提出:12 回目)
	事前・事後学習	レポート作成。
12	授業内容	ケアマネジメントの実際③ ケアプラン作成のポイント① 【講義と個人ワーク】
	事前・事後学習	情報収集のまとめ。
13	授業内容	ケアマネジメントの実際④ ケアプラン作成のポイント② 【個人ワークと指導】
	事前・事後学習	アセスメントのまとめ。
14	授業内容	ケアマネジメントの実際⑤ ケアプラン作成のポイント③ 【グループワーク】

	事前・事後学習	ケアプラン作成のまとめ。
15	授業内容	ケアマネジメントの実際⑥【発表とまとめ】
	事前・事後学習	発表の準備。